

うふな〜号

〜通信〜

今回の『うふな〜号通信』では、大名第二団地自治会について紹介していきたいと思います。

大名第二団地自治会は、昭和46年に結成され、52年の歴史があります。

住民の方々は30代に引っ越してきた方が多く、現在、80代を迎え、207世帯のうち高齢者のいる世帯は6割以上となっています。そのため、移動に関する課題

は、これから更に高まっていくものと考えられます。しかし、52年の歴史の分、住民同士の繋がりは強く、月曜日にふれあいデイサービス、火曜日には百歳体操、その他にも三線クラブ、大正琴など、集会所では多くの方々が集い、様々な地域活動が行われています。毎朝、ご近所さん同士で誘い合い、ウォーキングもされているとのことでした。

また、自治会の通りにはプランターが設置されており、色とりどりの花が咲いています。朝、水やりをしながら、登校する小学生を見守ったり、立哨活動を行うなど、子どもから大人まで繋がりを大切にしているそうです。

“地域見守り隊”も結成されており、班長さんによる毎月の見守り活動も行われています。熱心な民生委員児童委員さんもおり、自助力・共助力が強い、思いやり溢れる温かい地域となっております。



『地域の足』移動支援利用の為に大名第二団地自治会 集会所に集まる利用者



集いの場での活動の様子

